

社会資本総合整備計画（防災・安全）

事後評価書

平成30年 8月31日

計画の名称	下水道施設の計画的な改築更新（防災・安全）（第2期）		
計画の期間	平成27年度～平成29年度（3年間）	交付対象	京都府 綾部市
計画の目標			

- ・綾部浄化センターについて、長寿命化計画に基づく長寿命化対策を実施し、施設の機能確保及び持続可能で安定的な下水道サービスの提供を図る。
- ・由良川の水位上昇に伴う古川樋門閉鎖による内水氾濫を抑制するため、雨水ポンプ場の施設整備を行い浸水家屋の低減を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・汚泥処理施設の長寿命化対策（改築更新）を完了させる。
- ・雨水ポンプ場の整備により、床上浸水戸数を減少させる。（H25.9台風18号降雨時床上浸水想定戸数：11戸→2戸）

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (—)	最終目標値 (H29末)	備考
83.0%	—	100.0%	
83.0%	—	100.0%	
—	—	0.0%	
—	—	0.0%	

汚泥処理施設の改築更新実施率

改築更新実施率(%) = (改築更新実施済施設(施設数)) / (計画期間内の改築更新対象施設(施設数:6))

床上浸水戸数の解消率 (H25.9台風18号降雨に対する)

床上浸水解消率(%) = (対策による床上浸水削減戸数) / { (対策前床上浸水戸数(11戸)) - (対策後床上浸水戸数(2戸)) }

全体事業費

合計  
(A+B+C)

249百万円

A

212百万円

B

0百万円

C

37百万円

効果促進事業費の割合  
C / (A+B+C)

14.85%

事後評価

○事業評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

綾部市下水道課内において、事業実施状況、指標の達成状況の確認及び評価を実施。

事後評価の実施時期



平成30年8月

公表の方法











綾部市ホームページにて公表する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

上段 (計画)   
下段 (実施) 

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
A07-001	下水道	一般	綾部市	直接	綾部市	処理場	改築	綾部浄化センター（汚泥処理施設） 下水道長寿命化対策実施	汚泥処理施設 改築更新	綾部市						128	長寿命化
A07-002	下水道	一般	綾部市	直接	綾部市	ポンプ場	新設	綾部排水区（雨水）ポンプ場（設置）	雨水ポンプ場 新設	綾部市						84	浸水対策
合計															212		
合計															212		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計															0	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
C07-001	下水道	一般	綾部市	直接	-	新設	綾部排水区(雨水)浸水対策事業	排水ポンプ車 1台 処理能力 0.5m³/sec	綾部市						36 36	浸水対策
C07-002	下水道	一般	綾部市	間接	個人	新設	綾部排水区(雨水)浸水対策事業	雨水貯留施設設置補助	綾部市						1 1	浸水対策
合計														37 37		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C07-001	雨水事業計画区域内に移動可能な排水ポンプ車を配備することで、雨水ポンプ場との相乗効果により、より一層安心・安全な市民生活を確保することができる。															
C07-002	雨水貯留施設の設置を推進することで雨水流出量の削減が図れるのみならず、市民の浸水に対する意識を高めることにも貢献する。															

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>綾部浄化センター(汚泥処理施設)の長寿命化対策(改築更新)は計画通り完了し、安定的な下水道サービスの提供が可能となった。</li> <li>床上浸水戸数の解消率は、雨水ポンプ場建設工事を今後実施する計画であるため0%のままであるが、基本設計・詳細設計を実施しており着実に進捗できている。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標① 汚泥処理施設の改築更新実施率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	事業期間内に完了し目標値が達成された。	
		最終実績値	100.0%			
	指標② 床上浸水戸数の解消率	最終目標値	0.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	0.0%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

## 3. 特記事項(今後の方針等)

- 綾部浄化センターについては汚泥処理施設に続き、水処理施設等の長寿命化対策を実施する必要があり、ストックマネジメント計画を策定し、施設の機能確保及び持続可能で安定的な下水道サービスの提供を図る。
- 由良川の水位上昇に伴う樋門閉鎖による床上浸水戸数の低減のため、雨水ポンプ場の基本設計、詳細設計を実施しており、引き続き社会資本総合整備計画「綾部市における安全・安心な下水道整備(防災・安全)(重点計画)」により事業を推進し、浸水被害の軽減を図りたい。